学校番号	3003

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）理科演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	クラウド型学習教材「すらら」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

21 世紀は，新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す，いわゆる「知識基盤社会」の時代であると言われています。このような社会で進学コースを選択する皆さんには、確かな学力，豊かな心，健やかな体が調和した「生きる力」を、自らの力で高めることを進学先で求められます。

「理科演習」では、このような状況に置かれた皆さんが、理科について基礎から学びなおしたり、応用的な内容を学んだりすることを通じて、理科を自ら学ぶ力を養い、幅広い知識を習得することで、進学後に自らの力で理科の学習を深められるようになることをめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けるようにする。また，自己実現に向けて求められる知識や技能が何かを理解できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
学習目的を理解し、達成に向け適切な手段を講じ、自ら考え適切に判断し、創意工夫して学習する能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。また、理科の学習を通じて、自己実現を果たそうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けている。 自己実現に向けて求められる知識や技能が何かを理解できている。	学習目的を理解し、達成に向け適切な手段を講じ、自ら考え適切に判断し、創意工夫して学習する能力を身に付けている。	自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとしている。 理科の学習を通じた、自己実現を果たそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	学習計画	1．オリエンテーション 授業の説明				
		2．目標設定、班分け めざす進路に応じた学習目標を設定し、目標が近しい生徒で学習班を作る。	b: 目標設定が具体的か。 c: 積極的に目標設定ができているか。		ワークシート	観察
		3．情報収集、課題抽出 目標実現に向け学ぶべき内容を調査し、課題を見出す。	a: 自己実現に必要な知識や技能が何かを理解できているか。 b: 目標達成に向けて必要な課題が何かを抽出できているか。 c: 積極的に情報収集と課題抽出ができているか。	ワークシート	ワークシート	観察
		4．計画作成、計画共有 年間計画と短期計画を作成する。学習班で計画を共有し、互いの計画をより良いものに改善する。	b: 計画が具体的か。 c: 積極的に計画を共有し、相互に計画を改善できているか。		ワークシート	観察
2学期	自律学習	5．自律学習 計画に基づいて学習を進める。	a: 学習内容が定着しているか。 c: 積極的に自律学習ができているか。	ノート 小テスト		観察
		6．検証、計画改善 短期計画の達成状況を学習班内で共有し、改善が必要な項目を抽出する。年間計画と照らし合わせ短期計画を修正する。 以降、「5．自律学習」と「6．検証、計画改善」を繰り返す。	a: 進路実現に必要な知識や技能が何かを理解できているか。 b: 具体的な計画検証ができているか。 b: 具体的な課題抽出ができているか。 b: 具体的な計画改善ができているか。 c: 積極的に計画を共有し、相互に計画を改善できているか。	ワークシート	ワークシート	観察
3学期	最終検証	7．最終検証 年間計画の達成度を班内で検証し、共有する。	a: 学習内容が定着しているか。 b: 計画がどの程度達成できたか。 c: 積極的に自律学習ができたか。	ノート 小テスト	ワークシート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度